

西暦(和暦)	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	備考
実施期間	9月4日～9月14日	12月7日～12月19日	12月9日～12月23日	9月11日～9月25日	8月中旬～8月下旬(予定)	
回答数	349	352	352	367	—	
設問1	「生物多様性」という言葉を知っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。	「生物多様性」という言葉を知っていますか。次の中から1つだけ選んで別添の回答票に番号を記入ください。	「生物多様性」という言葉を知っていますか。次の中から【1つだけ】選んでください。	あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。次の中から【1つだけ】選んでください。	あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。次の中から【1つだけ】選んでください。	・生物多様性の認知度を確認 ・毎年調査
	①内容をよく知っている。 ②内容をある程度知っている。 ③葉を聞いたことがある。 ④全く知らない	①内容をよく知っている。 ②内容をある程度知っている。 ③言葉を聞いたことがある。 ④全く知らない。	①内容をよく知っている ②内容をある程度知っている ③言葉を聞いたことがある ④全く知らない	①内容をよく知っている ②内容をある程度知っている ③言葉を聞いたことがある ④全く知らない	①内容をよく知っている ②内容をある程度知っている ③言葉を聞いたことがある ④全く知らない	
設問2	自然共生社会の実現を目指していく上で、県が重点的に取り組むべきであると思うことは何ですか。次の中から1つだけ選んでください。	生物多様性を守るために、あなたはどのようなことを行っていますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。	生物多様性を守るために、あなたはどのようなことを行っていますか。次の中からあてはまるものを【2つまで】選んでください。	生物多様性を守るために、あなたはどのようなことを行っていますか。次の中から【2つまで】選んでください。	生物多様性に配慮した行動として、あなたはどのようなことを行っていますか。これから行っていきたいものも含め、次の中から【2つまで】選んでください。	・生物多様性への配慮の視点(行動・意識)を確認 ・2018年度(設問2)、2019年度(設問2)、2020年度(設問2)を修正
	①絶滅の恐れのある野生生物(絶滅危惧種)やその生息地の保護 ②外来生物(オオキンケイギクなど)の防除による自然への被害の抑制 ③シカやイノシシなど農林業・生態系への被害が深刻な鳥獣の生息数の調整 ④環境に配慮した公共工事の推進 ⑤県民が保全活動に参加できる仕組みづくり ⑥その他	①自分のまちを散策して、身近な自然を感じる。 ②身近な生き物の名前を調べる。 ③地のもの・旬のものを食べる。 ④野生の生きものにエサをやらない。 ⑤環境にやさしい商品を選ぶ。 ⑥アサガオ等で緑のカーテンを作る。 ⑦生きもの観察会や環境保全活動に参加する。 ⑧ペットを最後まで飼育する。 ⑨花や実のなる木を植える。 ⑩自然についてできることを話し合う。 ⑪その他	①自分のまちを散策して、身近な自然を感じる。 ②身近な生きもの名前を調べる。 ③地のもの・旬のものを食べる。 ④野生の生きものにエサをやらない。 ⑤環境にやさしい商品を選ぶ。 ⑥アサガオ等で緑のカーテンを作る。 ⑦生きもの観察会や環境保全活動に参加する。 ⑧ペットを最後まで飼育する。 ⑨花や実のなる木を植える。 ⑩自然についてできることを話し合う。 ⑪その他	①自分のまちを散策して、身近な自然を感じる ②身近な生きもの名前を調べる ③地のもの・旬のものを食べる ④野生の生きものにエサをやらない ⑤環境にやさしい商品を選ぶ ⑥アサガオ等で緑のカーテンを作る ⑦生きもの観察会や環境保全活動に参加する ⑧ペットを最後まで飼育する ⑨花や実のなる木を植える ⑩自然についてできることを話し合う ⑪その他	①旬のもの、地元のものを選んで購入する ②身近な生きものを観察したり、外に出て自然と積極的にふれあう ③エコツアー(ガイドによる自然体験)に参加する ④生物多様性に関わる観察・調査・保全・再生などの活動に参加する ⑤生きものを最後まで責任を持って育てる ⑥生物多様性や環境に配慮している企業の商品やサービスを優先的に選ぶ ⑦自然や生きものについて、家族や友人と話し合う ⑧節電やアイドリングストップなど地球温暖化対策に取り組む ⑨その他(自由記述) ⑩特に行いたいとは思わない(理由を記載)	
設問3	これまでに、自然環境や生物多様性の保全活動に参加したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。	生物多様性の保全等の取組を推進するためには、まずは自然とふれあう機会を創出することが重要です。あなたは、どのようなフィールドの自然や生きものに関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。	今後、生物多様性の保全等について、地域での自主的な取組を推進するために、県はどのようなことを支援したほうがいいと思いますか。次の中から【1つだけ】選んでください。	自然共生社会の実現のためには、行政だけではなく、県民、NPO、企業等の多様な主体による取組が必要になってきます。あなたは、これまでに自然環境や生物多様性の保全活動に参加したことがありますか。次の中から【1つだけ】選んでください。	自然共生社会の実現のためには、行政だけではなく、県民、NPO、企業等の多様な主体による取組が必要になってきます。あなたは、これまでに自然環境や生物多様性の保全活動に参加したことがありますか。次の中から【1つだけ】選んでください。	・保全活動への関わり程度を確認 ・2017年度(設問3)、2020年度(設問3)に同じ
	①NPOなどの自然環境保全団体に属しており、定期的に活動を行っている。 ②会員ではないがNPOなどの自然環境保全団体の活動に時々参加している、又は参加したことがある。 ③そのような活動に参加したいと考えているが、どうすれば参加できるかわからない、又はきっかけがない。 ④仕事や家庭など多忙であり、参加する時間がない。 ⑤興味がないので参加したいと思わない。 ⑥その他	①山、森林、湿原、草原など ②干潟、離島、海など ③河川、クリーク、ため池、水田など ④自然公園のように自然が保護されている場所 ⑤観光ガイドブックに載るような風光明媚な景観のある場所 ⑥人の手により整備された公園やキャンプ場、ビオトープなど ⑦その他	①地域の活動に対して資金等を助成する ②市町村やNPO等に対して取組への助言や生物多様性に関する研修会を実施する ③誰でも取り組めるような生物多様性保全活動ためのリーフレットを作成し、周知・配布する ④自然観察会等に、生物多様性に精通した人材を派遣する ⑤一般の人を対象とした生物多様性に精通した人材を育成するための研修会を開催 ⑥その他	①NPOなどの自然環境保全団体に属しており、定期的に活動を行っている ②団体には所属していないが、NPOなどの自然環境保全団体の活動に時々参加している、又は参加したことがある ③保全活動に参加したことはないが、身の回りにある自然に興味を持ち、親しんでいる ④保全活動への参加や身の回りにある自然とのふれあいに興味を持っているが、参加の方法が分からない、又はきっかけがない ⑤興味がないので参加したいと思わない ⑥その他	①NPOなどの自然環境保全団体に属しており、定期的に活動を行っている ②団体には所属していないが、NPOなどの自然環境保全団体の活動に時々参加している、又は参加したことがある ③保全活動に参加したことはないが、身の回りにある自然に興味を持ち、親しんでいる ④保全活動への参加や身の回りにある自然とのふれあいに興味を持っているが、参加の方法が分からない、又はきっかけがない ⑤興味がないので参加したいと思わない ⑥その他(自由記述)	

西暦(和暦)	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	備考
実施期間	9月4日～9月14日	12月7日～12月19日	12月9日～12月23日	9月11日～9月25日	8月中旬～8月下旬(予定)	
回答数	349	352	352	367	—	
設問4	<p>あなたが自然環境や生物多様性の保全活動に取り組む場合、どのような活動を行いたいですか。次の中から1つだけ選んでください。</p>	<p>県では、生物多様性への関心や認識を深めるため、県民の皆さんが普段の生活や休日のレジャー等で見つけた生きものについて、種名、写真、発見日時・場所を報告してもらい、県内に生息・生育する動植物の分布状況を把握するうえでデータとして活用する「県民参加型の生きもの調査」の実施を重点プロジェクトとして掲げています。生きもの情報を報告する方法として便利だと思うものを、次の中から1つだけ選んでください。</p>	<p>県では、自然環境調査の結果をもとに、絶滅のおそれのある野生生物の現状や減少要因等をまとめた「福岡県レッドデータブック 福岡県の希少野生生物(以下、「福岡県レッドデータブック」という。)」を作成しています。あなたはこの福岡県レッドデータブックを知っていますか。次の中から【1つだけ】選んでください。</p>	<p>今後、生物多様性の保全等について、地域での自主的な取組を推進するために、県はどのようなことを支援したほうが良いと思いますか。次の中から【1つだけ】選んでください。</p>	<p>県が実施している生物多様性保全のための取組について、知っているものはありますか。知っているものを【全て】選んでください。</p>	<p>・県の取組に関する認知度を確認 ・2020年度(設問5)を修正</p>
	<p>①絶滅の恐れのある野生生物(絶滅危惧種)の保護</p> <p>②外来生物(オオキンケイギク、ウシガエルなど)の防除</p> <p>③身近な野生生物(ホタル、など)が住みやすい環境づくり</p> <p>④その他</p>	<p>①報告用のホームページに情報をアップロードして報告</p> <p>②LINE、フェイスブック等のSNSを活用して報告</p> <p>③Eメールにより報告</p> <p>④報告用紙を郵送する等、紙媒体により報告</p> <p>⑤その他</p>	<p>①知っている(読んだことがある)</p> <p>②知っている(読んだことがない)</p> <p>③知らない(国や他の都道府県のレッドデータブックは知っている)</p> <p>④知らない</p>	<p>①地域の活動に対して資金等を助成する</p> <p>②市町村やNPO等に対して取組への助言や生物多様性に関する研修会を実施する</p> <p>③誰でも取り組めるような生物多様性保全活動のためのリーフレットを作成し、周知・配布する</p> <p>④自然観察会等に、生物多様性に精通した人材を派遣する</p> <p>⑤一般の人を対象とした生物多様性に精通した人材を育成するための研修会を開催する</p> <p>⑥その他(次の設問で具体的に記入してください)</p>	<p>①福岡県生物多様性戦略 生物多様性の保全と持続可能な利用に関する施策を総合的に推進するための計画</p> <p>②県民行動リスト 生物多様性を守るために、1人1人が実践できる行動メニューを示したもの</p> <p>③福岡県レッドデータブック 絶滅のおそれのある野生の動植物種のリスト及びその生育・生息状況をとりまとめた資料</p> <p>④福岡県の希少野生生物 「福岡県レッドデータブック」に掲載された動植物種の解説や検索機能を備えたWEBサイト</p> <p>⑤福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例 希少野生動植物種の保護により、生物多様性を確保し、人と野生動植物とが共生する豊かな自然環境を次代に継承することを目的とした条例</p> <p>⑥福岡県侵略的外来種リスト 外来種に対する意識の向上と外来種対策における基礎資料(生態、分布状況、対策の優先順位等)として作成された資料</p> <p>⑦外来種防除リーフレット 県内で広域的に分布域を広げている特定外来種のうち、3種について、生態や見分け方、防除方法をまとめた資料</p> <p>⑧地域環境協議会 県、市町村、NPO、事業者等で構成された連携組織で、自然観察会や地域の保全活動等を推進</p> <p>⑨その他(自由記述)</p> <p>⑩いずれも知らない</p>	
設問5	<p>生物多様性を守るために、あなたはどのようなことを行っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。</p>	<p>今後、生物多様性の保全等について、地域での自主的な取組を推進するために、県はどのようなことを支援したほうが良いと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。</p>	<p>問4で①又は②を選択された方にお尋ねします。福岡県レッドデータブックをどのようにして知りましたか。次の中から当てはまるもの【全て】を選んでください。</p>	<p>県が実施している生物多様性保全のための取組について、知っているものを【全て】選んでください。</p>	<p>自然共生社会の実現を目指していく上で、県が重点的に取り組むべきであると思うことは何ですか。あなたが思う【上位3つ】を選んでください。</p>	<p>・県の施策に対する県民のニーズを確認 ・2017年度(設問2)を修正</p>
	<p>①自分のまちを散策して、身近な自然を感じる</p> <p>②身近な生きもの名前を調べる</p> <p>③地のもの・旬のものを食べる</p> <p>④野生の生きものにエサをやらない</p> <p>⑤環境にやさしい商品を選ぶ</p> <p>⑥緑のカーテンをつくる</p> <p>⑦生きもの観察会や環境保全活動に参加する</p> <p>⑧ペットを最後まで飼育する</p> <p>⑨花や実のなる木を植える</p> <p>⑩自然についてできることを話し合う</p> <p>⑪その他</p>	<p>①地域の活動に対して資金等を助成する</p> <p>②市町村やNPO等に対して取組への助言や生物多様性に関する研修会を実施する</p> <p>③誰でも取り組めるような生物多様性保全活動のためのリーフレットを作成し、周知・配布する</p> <p>④自然観察会等に、生物多様性に精通した人材を派遣する</p> <p>⑤一般の人を対象とした生物多様性に精通した人材を育成するための研修会を開催する</p> <p>⑥その他</p>	<p>①書店</p> <p>②学校</p> <p>③図書館</p> <p>④学校・図書館以外の公共施設</p> <p>⑤県のホームページ</p> <p>⑥自然観察会等のイベント</p> <p>⑦その他</p>	<p>①福岡県レッドデータブックの作成</p> <p>②県民行動リストの作成</p> <p>③福岡県侵略的外来種リストの作成</p> <p>④外来種防除リーフレットの作成</p> <p>⑤自然観察会の実施</p> <p>⑥いずれも知らない</p>	<p>①身近な野生生物(ホタル、ツバメなど)や里地里山といった身近な自然の保全</p> <p>②希少な野生動植物やその生息地の保全・保護</p> <p>③野生鳥獣(シカ、イノシシなど)や外来生物による被害の防止</p> <p>④環境教育の充実</p> <p>⑤生物多様性に関する各種情報の発信・提供 (希少種・外来種を含む生きもの全般の情報、県内で活動する保全団体の情報、環境啓発資料、県の施策等)</p> <p>⑥生物多様性保全の取組を進めるための科学的なデータの集積や調査・研究</p> <p>⑦生物多様性の保全に取り組む民間団体への支援</p> <p>⑧環境に配慮した公共工事の推進</p> <p>⑨分からない</p> <p>⑩その他(自由記述)</p>	

西暦(和暦)	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	備考
実施期間	9月4日～9月14日	12月7日～12月19日	12月9日～12月23日	9月11日～9月25日	8月中旬～8月下旬(予定)	
回答数	349	352	352	367	—	
設問6			自然との共生について、これまでの設問以外に意見がありますか。次の中から【1つだけ】選んでください。 ①ある(次の設問で具体的に入力してください) ②特にない	自然との共生について、これまでの設問以外に意見がありますか。 ①ある ②ない	今後、生物多様性の保全等について、地域での自主的な取組を推進するために、県はどのようなことを支援したほうがいいと思いますか。次の中から【1つだけ】選んでください。 ①地域の活動に対して資金等を助成する ②市町村やNPO・事業者等に対して生物多様性保全活動への助言や技術指導を行う ③地域の活動に対して生物多様性に精通した人材を紹介・派遣する ④生物多様性に精通した人材を育成するための研修会を開催する ⑤誰でも取り組めるような生物多様性保全活動のためのリーフレットを作成し、周知・配布する ⑥その他(自由記述)	・地域活動の支援のあり方について確認 ・2018年度(設問5)、2019年度(設問3)、2020年度(設問4)を修正
設問7					自然との共生について、これまでの設問以外に意見がありますか。 ①ある(自由記述) ②ない	・2019年度以降、毎年調査